

コード	504040204
記入日	H21.6.1

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川義男
担当者	中山利朗

作成年度	平成 21 年度
------	----------

事務事業事後評価表

評価対象事業名称	頭ヶ島天主堂補修補助金
----------	-------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	504	施策名称	伝統、文化の保存・継承と創造	項コード	5
基本事業コード	50404	基本事業名称	文化財の整備と活用	目コード	1
事務事業コード	5040402	事務事業名称	文化財保護の充実	細目コード	
関連計画			法令・条例規則等	新上五島町文化財保護条例	

計画 (PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。												
対象: 誰、何を対象にしているのか					対象指標: 対象の大きさを表す指標							
(対象1) 国指定重要文化財頭ヶ島天主堂					(対象指標1) 1件							
(対象2)					(対象指標2)							
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入					活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)							
(全体)		(評価年度実績)			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)			
*****		頭ヶ島天主堂の窓枠が腐朽し、開閉できなくなっていたため、緊急的に補修工事を実施した経費を補助した。			①		*****	*****	*****	補修件数1件÷補修すべき文化財件数1件	*****	
							補修件数		1件	100%	補修すべき文化財件数1件	平成20年度
					(達成率分析)		計画どおり、頭ヶ島天主堂の補修を実施した。					
					②							
(達成率分析)												
目的: 何をしたいのか					成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)							
町内の貴重な文化財を計画的に補修し、後世にしっかりと残していきたい。					(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)			
					①		*****	*****	*****	補助件数1件÷補助すべき文化財件数1件	*****	
							補助件数		1件	100%	補助すべき文化財件数1件	平成20年度
					(達成率分析)		計画通り実施できた。					
					②							
					(達成率分析)							

実施 (DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。					
	単位	全体計画	H 20 ~ H 20	平成19年度以前	平成20年度
		計画	実績	実績	計画 実績
活動指標	① 件	1	1		1 1
	②				
成果指標	① 件	1	1		1 1
	②				
総事業費 C (A+B)		千円	841	841	841 841
直接事業費 A		千円	141	141	141 141
人件費 B		千円	700	700	700 700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1 0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000 7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円			
	県補助金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	14	14	14 14
一般財源		千円	827	827	827 827

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	国の重要文化財として、緊急に補修する必要があった。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	窓枠の腐朽が原因で、落下し損壊したため、緊急に補修する必要があった。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	文化財保護条例に基づき、適切に行われた。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	達成された。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	適切に実施されたので、余地はなかった。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	補修を実施しなければ、十分な保存措置をとれなかった。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	緊急のため、整理統合できなかった。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	必要最低限の費用で実施したため、削減できない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	必要最小限の人員で取り組んだ。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	教会における環境にあわせて適正だった。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点 今回は緊急に補修が必要となったため、実施したが、他の文化財と比較しながら、補修計画を立てる必要がある。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 なし
2次評価	文化財は郷土の貴重な財産であるから、今後とも維持・管理には十分注意すること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。